

# 追跡

## — あの質問のゆくえ —

### ソフト小村の実態は

ソフト小村の使用状況はどうなっているのか。また、入居事業所の職種制限を緩和する考えはありませんか。

平成21年9月議会

町長答弁

### 産業の構築も念頭に

経済不況の影響もあって空きがある状況ですが、白鷹にあった活用の方法、産業の構築も念頭におきながら、新たな取り組みも検討していきます。

どうなった

### 6棟すべて入居

平成22年6月定例会において、情報産業のほか、研究開発や新事業の創出など、地域経済の活性化をはかると共に、施設の積極的利用と雇用の拡大をはかるため、個性ある地域情報産業をつくる白鷹ソフト小村条例の一部を改正しました。現在は6棟入居です。



白鷹ソフト小村



真剣な表情の傍聴席

議会開催時には、いつもインターネットでその内容を拝見しています。鋭い質問や良く勉強しているなあと思わせる質問もあり、興味深く見ていたところです。しかし、一般質問では質問者が2人などという数字を見るにつけ非常に寂しい気がしてなりません。数より質ということもあるかもしれませんが、ベテラン議員の鋭い舌鋒も見てみたいものです。町政に対するチエツク機能として、まずは、活力ある議会であって欲しいと望むところです。

(60代男性)

### 町民の声



### 編集後記

実りの秋といいますが、酷暑が長く続いた夏の天候により、農作物の作況に与える影響が心配されるそうです。

地方議会では、議会改革に取り組んでいる状況があります。当議会でも、今回から通年の予算特別委員会で補正予算を審議しました。町民の方への情報開示や説明責任が果たせればと思います。

国政に目を転ずれば、「こころざし」よりも「勝利」が優先される政治行動が多いように感じられます。

「議会だよりしらたか」は議会広報誌ではなく議会広報誌として、町民の方と議会を深くつなぐものを目指したいと思えます。(関)

発行責任者・編集 青木 彰榮

#### 広報委員

委員長 関 千鶴子  
副委員長・編集長 山田 仁  
委員 樋口与一朗  
委員 田中 孝  
委員 新野いく子  
印刷・詢梅津印刷